



Japanese Red Cross College of Nursing
International Collaboration Center

Annual Report

2025



2025年度 活動報告書
日本赤十字看護大学
国際交流センター

目次

はじめに.....	1
I. 目的と運営	3
A. 目的.....	3
B. 運営.....	4
II. 活動内容	5
A. 国際交流・国際教育事業の推進及び実施.....	5
B. 大学間交流協定	5
1. 大学間交流協定提携校.....	5
2. MOU 更新状況	6
C. 外国人研究者等の受け入れ・支援	7
D. 学生の国際交流	9
1. ワシントン大学語学研修	9
2. 学生部会の活動.....	10
3. スウェーデン赤十字大学交換留学生の受入	13
4. スイス ラ・ソース大学交換留学生の受入	16
5. スウェーデン赤十字大学交換留学生派遣.....	16
6. スイス ラ・ソース大学交換留学生派遣.....	17
7. 交換留学生派遣共通プログラム	21
8. 2025 年度交換留学生派遣：選考およびガイダンス	22
E. 国際会議・国際シンポジウムの開催	23
1. 国際セミナー	23
2. 日本赤十字六大学共同国際セミナー	24
F. その他 国際交流活動及び国際事業・協力活動	24
1. TOEFL-ITP	24
添付資料	
1. 2025 年度国際交流センター 年間スケジュール	26

Contents

Message from Director of International Collaboration Center	1
I . Purposes and Administration	3
A. Purposes	3
B. Administration	4
II . Main Activities	5
A. The Promotion of International Exchange and Education	5
B. Exchange Agreements with Foreign Universities.....	5
1. List of Exchange Agreements with Foreign Universities.....	5
2. MOU	6
C. Faculty and Staff Support for Researchers from Foreign Countries	7
D. International Exchange Programs for Students	9
1. Intensive English Program at University of Washington, Seattle, U.S.A.	9
2. Activities at International Collaboration Center Students	10
3. Exchange Students from the Swedish Red Cross University	13
4. Exchange Students from Institut et Haute Ecole de La Santé La Source, Switzerland.....	16
5. Exchange Students to the Swedish Red Cross University	16
6. Exchange Students to Institut et Haute Ecole de La Santé La Source, Switzerland.....	17
7. Student Exchange Joint Meetings.....	21
8. Students Studying Abroad: Selection and Guidance.....	22
E. International Conferences and Symposiums.....	23
1. International Seminar	23
2. Six Universities Collaborative International Seminar (the Japanese Red Cross Academy of Nursing)	24
F. Other International Activities, International Programs and Cooperative Activities	24
1. TOEFL-ITP	24
Appendix	
1. 2025 Annual Schedule	26

はじめに

国際交流センター長 渋谷 真樹

本学は、赤十字の人道主義や国際性を背景に、人々が豊かで平和に、そして健康に生きる社会の創設に貢献できる人々を育てています。赤十字の理念を体得するために、国際交流は欠かせない柱です。そこで、本国際交流センターは、2015年の設立以来、複数の大学と大学間交流協定を結んで学生や教員の派遣・受け入れを行ったり、国際シンポジウムを開催したりするなど、赤十字社のネットワークを生かしつつ、研究・教育・社会貢献の各領域で、国際交流や国際教育事業の推進をはかってきました。

今年度は、大学間協定を強めるための教職員間の交流がとりわけ活発に行われました。大阪万博のスイスパビリオンでは、ラ・ソース大学の先生方がワークショップを開催し、本学の教員3名も参加いたしました。その後、Christophe Boraley先生らは東京にもいらして、2024年度の派遣生2人が感動の再会を果たすことができました。また、11月にはスウェーデン赤十字大学からSusanne Georgsson学長らが来学し、留学生の実習の視察やMOUに関する話し合いなどが行われました。2026年3月には、佐々木副学長らとスウェーデン赤十字大学を訪問し、無事MOUを更新するとともに、派遣学生たちが生き生きと実習しているようすを確認することができました。こうした交流を通して、人と人、大学と大学、そして、国と国との理解や信頼感が深まり、結びつきが強まっていくのだと再認識いたしました。

交換留学制度は、実際に派遣された学生の学びになるのみならず、学生部会や帰国報告会などに参加する学生にも、視野を広げ、多様な価値観を体感するよい機会になっています。ワシントン大学語学研修には17人の学生が参加し、異文化で生活する喜びを体験してきました。

国際セミナーとしては、10月にコロンビア大学のPhoenix Matthews先生が、アメリカの大学におけるダイバーシティの取組について話してくださいました。排他的で攻撃的な風潮の強まる現代において、心に響くお話でした。さいたま看護学部の学生部会で、日本で働くフィリピン・インドネシア出身の看護師さんとの交流会がひらかれたのも、私たちのすぐ近くにあるグローバル化の実情を知る貴重な機会でした。

このように、国際交流センターは、本学のグローバルな活動の拠点として、「人道(Humanity)」という赤十字の理念を実現すべく、日々励んでいます。この活動報告書で、その活動を振り返り、よりよい実践へとつなげていきたいと考えています。

I. 目的と運営

A. 目的

国際交流センターは、本学における国際交流事業に広く貢献することを目的として 2015 年 4 月に設立された。学生や教員が様々な形で国際交流に参加できるよう、主に次の 6 つに関する活動を実施している。

1. 国際交流・国際教育事業の推進及び実施
2. 大学間交流協定
3. 外国人研究者等の受入・支援
4. 学生の国際交流
5. 国際会議・国際シンポジウムの開催
6. その他国際交流活動及び国際事業・協力活動など

The International Collaboration Center was established in April 2015 in order to contribute widely to international exchange programs in our college. We implement various international activities for our students as well as faculty members to take part in the programs.

1. To promote as well as implement international exchange and education
2. To exchange agreements with universities
3. To accept and support researchers from foreign countries
4. To promote international exchange programs for students
5. To hold international conferences and symposiums
6. To promote other international exchange activities as well as international programs and cooperative activities

B. 運営

国際交流センターは、日本赤十字看護大学国際交流センター規程に定める通り、本学教授を国際交流センター長とし、国際交流センター運営委員会を置いている。委員会は、センター長を含む 11 名の教員と 5 名の職員で構成され、上述の国際交流センターの目的 1～6 及び運営に関して毎月協議・報告を行っている。運営に関わる財源は、国際交流センター運営委員会予算から支出している。

各活動の担当者は次の通りである。

表 1. 国際交流センター運営委員会 各活動担当者一覧表

担 当 役 割	教 員	職 員
国際交流センター長	渋谷 真樹	
国際交流センター運営委員会 副委員長	野口眞貴子 住谷ゆかり	
研修・語学力の推進（TOEFL-ITPテスト） （会場運営）	遠藤 花子 鈴木 瞳 窪田三和子 庄木 里奈	
MOU	住谷ゆかり 角田 敦彦 野口眞貴子	
他国からの教員受入・外国人研究者受入	角田 敦彦 野口眞貴子 笹川 恵美	
スウェーデン赤十字大学 交換学生受入・派遣 スイス ラ・ソース大学 交換学生受入・派遣	笹川 恵美 安部 陽子 渡部 尚 鈴木 瞳 住谷ゆかり 庄木 里奈	高橋 朋子 武田久美子 山城 純礼 高 汐里 田中麻衣子
ワシントン大学大学語学研修	遠藤 花子 住谷ゆかり	
学生部会	鈴木 瞳 渡部 尚 庄木 里奈 窪田三和子	
国際会議・国際シンポジウム	野口眞貴子 安部 陽子 笹川 恵美 渡部 尚 窪田三和子	
年報・報告書	安部 陽子 角田 敦彦	
H P 更新、その他支援	高橋 朋子 武田久美子 山城 純礼 高 汐里 田中麻衣子	

II.活動内容

A. 国際交流・国際教育事業の推進及び実施

国際交流センターは、原則として、毎月定例で会議を開催し、国際交流・国際教育事業の推進及び実施をしている。6つの海外大学と「看護教育および研究・開発に関する覚書（MOU）」を締結し、随時更新している。MOUに則って学生や教員の派遣や受け入れをしており、その選考や準備、実施を行っている。MOU締結校以外への学生の海外研修としては、ワシントン大学への語学研修を設けており、両キャンパスの学生が参加している。

MOU提携校以外からも外国人の研究者や実務家・学生等から申し入れがあれば、随時検討の上、受け入れを行い、本学の教育プログラムや施設を紹介している他、本学教員によるレクチャーやディスカッションの場を設定している。

学生の国際交流としては、学生部会を設置し、交換留学生との親睦や学内行事への参加など、学生の国際交流を図っている。

さらに、海外の研究者や実務家を招いて国際シンポジウムを開催し、学内外にグローバルな知的交流の場を提供している。

以下、それぞれについて、本年度の具体的な活動を報告する。

B. 大学間交流協定

1. 大学間交流協定提携校

本学では、以下の海外の大学と「看護教育および研究・開発に関する覚書（MOU）」を締結している。

- ・ スウェーデン赤十字大学 (The Swedish Red Cross University, Sweden)
- ・ スリサバリンダタイ赤十字看護大学 (Srisavarindhira Thai Red Cross Institute of Nursing, Thailand)
- ・ ラ・ソース大学 (La Source, School of Nursing, University of Applied Sciences and Art of Western Switzerland, Switzerland)
- ・ カンボジア健康科学大学 (University of Health Sciences, Cambodia)
- ・ 聖アンソニー看護大学 (Saint Anthony College of Nursing, USA)

- ・ グランド・バレー州立大学 (Grand Valley State University, USA)

2. MOU 更新状況

2025 年度の MOU 更新をめぐる状況は、以下の通りである。

表 2. MOU 締結交流

2025年度 MOU協定状況

大学名	初回締結 年月日	協定更新 年月日	期間	満了日	申し出期限	備考
1 スウェーデン赤十字大学	2008/5/24	2021/6/9	5 年	2026/6/30	2026/3/30	
2 スリサバリンダタイ赤十字看護大学	2013/12/2	2023/8/29	5 年	2028/8/28	2028/5/27	更新しない場合は、90 日前に申し出
3 ラ・ソース大学	2014/5/12	2022/5/27	5 年	2027/5/26	—	1 年おきに見直し
4 カンボジア健康科学大学	2016/9/12	2024/3/29	5 年	2029/3/28	2028/3/28	6 カ月前までに申し出
5 聖アンソニー看護大学	2018/7/23	2023/7/21	5 年	2028/7/20	2028/1/20	6 カ月前までに申し出
6 グランド・バレー州立大学	2018/6/7	2023/5/30	5 年	2028/5/29	2028/1/28	120 日前までに申し出

*申し出期限の一年前から検討開始



2026 年 3 月 11 日

Susanne Georgsson 学長による署名を得て、無事スウェーデン赤十字大学との MOU が更新された。



2025 年 10 月 7 日

大阪万博スイス館にて、ラ・ソース大学シミュレーション部門の Donald Glowinski 先生による disaster nursing 教育についてのワークショップ。ラ・ソースで行われている AI を用いた最新のシミュレーション「TeamVision」についてのご紹介があった。

C. 外国人研究者等の受け入れ・支援

1. サンディエゴ大学

2025 年 9 月 18 日（木）サンディエゴ大学教員 3 名が本学に来て、学生交流の相談を行った。日程などの理由で学生交流の計画は持ち越しとなった。サンディエゴ大学からの訪問者の一覧は以下のとおりである。

1) Dr. Catherine De Leon, PhD, RN

(Clinical Associate Professor, Program Coordinator)

2) Ms. Stephany Daniel, MSN, RN, ACCNS-AG, CEN, CPEN (Professor)

3) サンディエゴ大学日本代表 高津奈巳 氏

2. スウェーデン赤十字大学

2025 年 11 月 4 日（火）～15 日（水）に、スウェーデン赤十字大学から教員 1 名、職員 2 名の計 3 名が来学し、MOU についての協議や交換留学の視察を行った。スウェーデン赤十字大学からの訪問者の一覧は以下のとおりである。

1) Professor Susanne Georgsson Vice chancellor

2) Dr. Jenny Cadstedt International strategist

3) Ms. Helene Komlos Grill Communication manager

表 3. 他国からの来訪者受入れ一覧（2018 年度～2025 年度）

2018	5 月	1	5/23 韓国赤十字中央大学 大学院生	21 名	大学の施設見学、大学紹介文化交流、大学院学生の研究テーマの意見交換
	9 月	2	9/12 ラオス Save the Children 看護師 Helen Catton	1 名	国際保健助産学の大学院生向けの特別講演を行うため
			9/19 シリア・アラブ赤新月社代表団	4 名	日赤が実施している医療事業、人材育成事業の現場を学ぶため
	10 月	1	10/9 スリランカ厚労省	1 名	国際保健助産学の大学院向けの特別講演を行うため
2019	他国からの来訪者受入れなし				
2020	他国からの来訪者受入れなし				
2021	他国からの来訪者受入れなし				
2022	3 月	1	3/2 タイ Srinakharinwirot University	9 名	国際交流
2023	7 月	1	7/25 クロアチア Varazdin Medical School	4 名	地方革新的な技術に特化したセンターの設立プロジェクトの一環として、看護大学のカリキュラム、施設等見学のため
	9 月	1	9/21 スウェーデン赤十字大学学部生	1 名	卒業研究のためのインタビュー調査
	10 月	1	10/31 スウェーデン赤十字大学	2 名	交換学生プログラムに関する意見交換
2024	4 月	1	4/17 アンゴラ保健省	7 名	「アンゴラ国プライマリヘルスケア施設における妊産婦ケアの質改善プロジェクト」の「妊産婦ケアの質改善」研修の一環
	6 月	1	6/21 ウクライナ赤十字社	5 名	看護大学設立のための施設等見学のため
	8 月	1	8/8 チェンマイ大学	5 名	産業看護継続教育に関する意見交換
	12 月	1	12/13 中国紅十字社	8 名	表敬訪問
2025	9 月	1	9/18 サンディエゴ大学	3 名	学生交流の可能性に関する意見交換
	11 月	1	11/14～15 スウェーデン赤十字大学	3 名	MOUについての協議、交換留学の視察

D. 学生の国際交流

1. ワシントン大学語学研修

2023 年度より、米国のワシントン大学にて語学研修を行っている。2025 年度は、8 月 15 日から 9 月 8 日まで、看護学部より 12 名、さいたま看護学部より 5 名の学生が参加した。

参加学生からのアンケートからは、充実した研修だったことが随所にみられた。



2. 学生部会の活動

国際交流センター運営委員会では、交換留学生や海外からの訪問者と本学学生が交流を図る目的で、2015 年度に国際交流センター学生部会を立ち上げた。2025 年度の部会登録者は、昨年度在籍していた大学院生が修了したため、学部生のみ計 45 名が在籍し、学部 2 年生を中心に学生主体で積極的に企画・実施を行っている。広尾キャンパスと大宮キャンパスでの交流も図りながら、年間を通して活動を行った。ほとんどの交流企画は対面で実施し、両キャンパスでの共同活動はオンラインで繋ぎながら行った。主な活動内容は、広尾、大宮両キャンパスにおける大学祭への出展、留学生との交流会であった。

表 4 2025 年度 国際交流センター運営委員会 学生部会企画

回	日程	時間	内容	キャンパス	場所	来場者数
1	4/21(月)	18:00-19:00	新入生歓迎会	合同	208 (Zoom)	広尾:24 大宮:9
2	10/4(土)	10:00-16:00	クロアージュ祭	広尾	202	11+来場者
3	11/4(日)	12:20-13:00	【留学生企画】 スウェーデン留学生 歓迎ランチ会	広尾	202	34
4	11/7(金)	12:10-13:00	【留学生企画】 スウェーデン留学生 歓迎ランチ会・ビンゴ 大会	大宮	SALA	20
5	11/9(日)	10:00-16:00	プリムローズ祭	大宮	ゼミ2	来場者 約 50 名
6	11/14(金)	18:15-19:00	【留学生企画】 スウェーデン留学生 送別お茶会	広尾	食堂前 ラウンジ	21
7	2/20(金)	16:30-17:30	日本で働くフィリピン・インドネシア出身の看護師さんとの交流会	大宮	多目的演習室	11

昨年度より学生部会の活動も対面での交流に戻り、学生同士が積極的に交流を楽しむ様子が見

られた。今年度は、次年度へ向けても、両キャンパスでの連携も図りながら、オンラインと対面の良い部分を生かし、国際交流推進に取り組みたいとの意見が出された。

1) 部会企画 2 クロアージュ祭での活動 (2025)

10月4日(土)に広尾キャンパスで行われたクロアージュ祭では、来校した方々や在校生に国際交流センター学生部会の活動や世界の文化について知ってもらうため、世界で遊ばれているボードゲームやカードゲームなどのミニゲームを紹介し、体験してもらうコーナーを開催した。家族連れや、友人同士で来場してくださった方々がゲームを体験し、繰り返し挑戦する子どもさんの姿も見られ、盛況であった。



2) 部会企画5 プリムローズ祭での活動展示とワークショップ開催 (2025)

11月9日(日)にさいたま看護学部で行われたプリムローズ祭では、留学の状況や学生部会の活動を伝えることで国際交流について興味を広げてもらうこと、編み物やワッペン作りのワークショップにより他文化に親しんでもらうことを目的に部会学生が出展をおこなった。写真による部会活動の展示では、来場者から留学についての質問が多くあり、部会の学生が対応した。またワークショップには来場者のお子様や保護者が参加し盛況であった。



3) 部会企画7 日本で働くフィリピン・インドネシア出身の看護師さんとの交流会 (2025)

2月20日(金)に、本学の学生が海外と日本の看護の違いや、日本で働く外国人の経験を知ることが目的とした学生部会企画の交流会を実施した。当日は、経済連携協定で来日して日本で働くフィリピン・インドネシア出身の看護師2名が大宮キャンパスへ来校し、部会の学生7名と教員4名が参加した。学生は積極的に質問をしながら、フィリピン・インドネシアと日本の看護業務・看護観の違い、文化の違い、外国語の勉強方法等について理解を深めていた。

事後アンケートでは、回答者全員が本企画について「とても満足できた」と回答した。



3. スウェーデン赤十字大学交換留学生の受入

スウェーデン赤十字大学との MOU は 2008 年 5 月に締結され、同年 11 月より交換学生の受入れを開始した。本年は 11 月 2 日から 11 月 15 日の 2 週間の日程で Mr. Jasin Rossi Jeblehbibi, Ms. Joseфина Maria Lovisa Öhman, Ms. Wiktoria Lukowska の 3 名の交換留学生を受け入れた。

受け入れにあたっては、広尾キャンパスでは成人看護領域の本庄教授、看護教育領域の佐々木教授、さいたまでは小児看護学領域の吉野教授、母性看護学領域の喜多教授が主担当となった。また、日本赤十字社医療センターでの見学・実習に備え、感染症抗体価検査報告書や誓約書を事前に入手し、看護部へ提出した。医療施設見学受け入れ内容の詳細は、以下の表 5 のとおりである。

表 5 2025 年度 スウェーデン赤十字大学交換留学生の受入日程

	日	曜日	時間	内容	場所 or 施設担当者	担当者等	宿泊先
1週目(広尾)	11/2	日	14:25	羽田空港到着(AY061)	羽田空港	SA	APAホテル西麻布 〒106-0031 東京都港区西麻布 4-4-5 TEL:0570-008-311
	11/3	月	文化の日	ホテルから大学まで案内、広尾周辺の案内		SA	
	11/4	火	10:00	オリエンテーション	205教室	国際交流センター	
			12:15-12:55	歓迎会	202教室	学生部会 SA	
			13:15-14:30	オリエンテーション(教育・成人)	601教室	佐々木幾美(看護教育学) 本庄恵子・三浦英恵(成人看護学)	
				副学長ら来学① Vice chancellor, Professor Susanne Georgsson Communication manager Helene Komlos Grill International strategist Jenny Cadstedt		通訳:横本加奈子	
	11/5	水	9:30-12:00	実習:日本赤十字社医療センター 9:15 守衛室前集合 大学から医療センターへ移動 9:30 3階ホワイエ集合 施設全体の見学ツアー、災害支援に関する講話等	看護副部長	渋谷真樹 西田朋子	
				副学長ら来学② Vice chancellor, Professor Susanne Georgsson Communication manager Helene Komlos Grill International strategist Jenny Cadstedt		SA	
			14:00-16:00	自己学習	ゼミ6		
	11/6	木	9:45	広尾駅集合			
			10:30-11:30	本社見学(午前)	本社・赤十字情報プラザ	引率職員(高橋・山城)	
	11/7	金	午後	自己学習			
			9:30-11:00	広尾から大宮キャンパスへ移動		SA	
			11:00-12:00	大宮キャンパスオリエンテーション		国際交流委員会担当者他	
			12:10-13:00	キャンパスツアー & ランチ会(学生部会)		学生部会 SA	
2週目(広尾)			14:00-16:00	病院見学(さいたま市民医療センター)見学後現地解散		担当領域(小児・母性) 通訳:東田吉子	
	11/8	土		自由			
	11/9	日		自由			
	11/10	月	9:30-12:00	実習:日本赤十字社医療センター 9:15 守衛室前集合 大学から医療センターへ移動 9:30 EICU集合	救命救急センター 看護師長:大浦 看護師:黒川	通訳:横本加奈子 教員:西田朋子 SA:	
				お昼休み			
				14:00-16:00	自己学習	ゼミ6	
	11/11	火	9:30-12:00	実習:日本赤十字社医療センター 9:15 守衛室前集合 大学から医療センターへ移動 9:30 手術室集合	手術室 看護師長:鈴木 看護師:藤田、澁澤、古波	通訳:横本加奈子 教員:三浦英恵 SA:	
				お昼休み			
				14:00-16:00	自己学習	ゼミ6	
	11/12	水	9:30-12:00	実習:日本赤十字社医療センター 9:15 守衛室前集合 大学から医療センターへ移動 9:30 GCU手洗い場集合	GCU(NCU見学) 看護師長:佐野 看護師:水野	通訳:横本加奈子 教員:西田朋子 SA	
				お昼休み			
				14:00-16:00	自己学習	ゼミ6	
	11/13	木	終日	まとめ:自己学習(プレゼンテーション準備等)	ゼミ6	SA ※全員午後のみ。	
	11/14	金	AM	自己学習(プレゼンテーション準備等)	ゼミ6		
			12:10-12:50	学習体験発表会	205教室	通訳:東田吉子 司会:佐々木幾美 教員:本庄・三浦・西田 SA	
			13:00-14:00	お昼休み			
			14:00-14:30	評価面接	205教室	教員:本庄恵子・三浦英恵	
			18:00-19:00	国際交流センター学生部会主催 送別会	1階クラナド(ラウンジ)	学生部会	
	11/15	土	10:00	ホテルチェックアウト その後国内を旅行			

◆交換留学生(スウェーデン)

スウェーデン赤十字大学の交換留学生3名は11月2日(日)に日本に到着した。スウェーデン赤十字大学からの交換留学生の受け入れにあたり、広尾・大宮キャンパスのそれぞれ初日にはオリエンテーションを開催した。また、期間中に日本赤十字社本社を見学した。さらに、国際交流センター運営委員会学生部会が主催して歓迎会やさまざまな交流会、送迎会を行った。これらの活動を通じて、交換留学生と両キャンパスの学生が親睦を深めた。

1) 広尾キャンパスでの歓送迎会 2025

スウェーデン赤十字大学の交換留学生が、11月4日（火）より交換留学を開始し、学生部会・SA主催で歓迎のランチ会を開催した。当日は、スウェーデン赤十字大学の教職員の参加や、本学からは守田学長も参加し、ランチを食べながら和やかに歓談しながら、留学生や教職員と親睦を深めることができる機会となった。11月14日（金）の最終日には、茶道の師範である仲崎先生をお招きし、送別のお茶会を開催した。送別会も、学生部会・SAが中心となり、準備と当日の運営を行った。お茶会を通して、留学生に日本の文化にも触れてもらう機会となったことはもちろん、本学の学生も改めて日本の文化について考える機会となった様子であった。お抹茶や和菓子を嗜みながら、留学生と学生達との会話も弾み、親睦を深めることができていた。



2) さいたまキャンパスでの歓迎ランチ会

スウェーデン赤十字大学の交換留学生が11月7日（金）にさいたま看護学部に来訪された。それに伴いさいたまの学生部会が主催してランチ会とビンゴ大会を行った。当日は留学生3名、学生20名と教員も数名参加した。参加者が持参したランチを食べながら歓談し、ビンゴ大会では景品があたると盛り上がり、留学生と学生の親睦を深める機会となった。



4. スイス ラ・ソース大学交換留学生の受入

ラ・ソース大学との MOU は 2014 年 5 月に締結され、2015 年 10 月より交換学生を受入れを開始した。3 名の交換留学生の受入れを計画していたが、ラ・ソース大学のカリキュラムの変更に伴い、本年度は学生の派遣を見送るとの連絡があった。

5. スウェーデン赤十字大学交換留学生派遣

スウェーデン赤十字大学の交換留学生派遣は、2026 年 2 月 23 日（月）～3 月 27 日（金）の 5 週間であった。看護学部からは山口萌さん、大島寛那さん、さいたま看護学部からは小川かりんさんが、交換学生として選抜された。クリニックやホームケアリングなどで実習を行った。2026 年 2 月 28 日に米国とイスラエルが対イラン軍事行動を開始し、その影響で湾岸諸国に戦火が拡大、ドバイを含む航空路線に深刻な混乱が生じた。国際交流センター長は、学長および危機管理

委員会と連携し、ドバイ経由を予定していた帰国便の変更等について迅速な判断を行った。その結果、派遣学生の家族から、対応に感謝する旨の連絡が寄せられ、派遣学生は無事に帰国することができた。2026 年度 5 月には帰国報告会を予定している。

表 7 2025 年度 スウェーデン赤十字大学交換留学生の派遣日程

Module/Type	Period	Description/Placement
Introduction	Week 9: 23 - 27 February	Introduction week at the Swedish Red Cross University (The schedule for the introduction week will be sent separately).
Primary health	Week10-13: 2-27 March	Meliva Vårdcentral Värberg, Värbergsplan 31, 1 tr Skärholmen Coordinator: Manal Ali, Tel: 08-120 512 09 Email: manal.ali@meliva.se



6. スイス ラ・ソース大学交換留学生派遣

ラ・ソース大学への交換留学生派遣は、2026 年 2 月 23 日（月）～3 月 13 日（金）の 3 週間であった。看護学部から倉石菜名さん、小林文音さん、瀬尾美翔さん、さいたま看護学部から谷田部陽菜さんが交換学生として選抜された。病院実習を行ったり、国連本部や ICRC などを見学したりした。帰国便の変更については、スウェーデンと同様である。詳細は表 8 のとおりである。スウェーデンと同様、2026 年度 5 月には帰国報告会を予定している。

表 8 2025 年度 ラ・ソース大学交換留学生の派遣日程

Global Health Nursing Exchange Program, Lausanne, Switzerland February 23 rd to March 14 th , 2026					
Date	Time	Place	Program	Faculty	Special Comments
Sat., Feb. 21st	12:45	Geneva	Arrival in Geneva airport: - Flight EK089 KOBAYASHI Ayane, SEO Haruka, YATABE Hina, KURAISHI, Nana Welcome at Students Residence	2025 outbound students: Ms. Jessica De Jesus Moreira and Flavie Del Fabbro Nadia Righetti, Project Assistant	She will welcome and accompany the students to reach the dorms by train and bus.
Sun., Feb. 22nd	13:00- 16:00	Lausanne	Discovering Lausanne (visit, orientation) www.lausanne-tourisme.ch/en	2025 outbound student: Flavie Del Fabbro	Pick up at Students Residence La Source
	18:45	Geneva	Arrival in Geneva airport - Flight EK083	2025 outbound student: Magali Piotet	Welcome at Lausanne train station and accompany the students to dorms.
	Around 21:00	Lausanne	Welcome at Students Residence	Prof. Christophe Boraley	
Mon., Feb. 23rd	09:00- 10:50	La Source, Vinet, Fréminet B	Welcome to Switzerland & Guided tour discovering La Source	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Ms Nadia Righetti	Meet at La Source reception, Vinet
	10:50- 11:30		Site Security Information	Eric Nicod Operations Manager /Fire protection safety officer	
	11:30- 12:00		Greetings and group picture, Prof. Véronique de Goumoëns, Director of Education, Research, Services & International Affairs	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Christophe Boraley, Debora Martinez +com	Lunch Vinet Pizza party
	14:30- 16:30	La Source, Beaulieu, Simulated hospital, room 10	Visit of the simulated hospital	Prof. Abel Delangre 	
	16:45- 18:00	La Source, Beaulieu, Salle 9	Presentation of the SU objectives and program, discussion time	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
Tue., Feb. 24th	08:30- 10:30	La Source, Beaulieu, Debriefing 1	Conference Global Mental Health	Prof. Debora Martinez	
	11:30- 12:30	La Source, Beaulieu, Grand auditoire	Personal presentation about school and region & informal gathering	Prof. Van der Veken, 2025 outbound students, student association (ADES) 	

	12:30-13:30	La Source, Beaulieu, Espace Poisson	Informal gathering	Prof. Van der Veken, 2025 outbound students, student association (ADES) 	
	15:00-16:00	La Source, Beaulieu, Debriefing 1	Conference Simulation	Prof. Donald Glowinski, 	
	17:30-20:00	La Source, Presbytère	Informal gathering, raclette party	Prof. Karen van der Veken, Mrs. Nadia Righetti, 2025 outbound students, ADES students 	
Wed., Feb. 25th	9:30-11:30	La Source, Beaulieu Salle 4	Workshop : Joint Crisis Plan	Prof. Pascale Ferrari, Prof. Tania Zambrano Ovalle 	To prepare for this class, please take a look at the video and document sent by mail
	13:00-15:00	La Source, Beaulieu, Salle 9	Poster objectives and themes	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
	15:30-17:00		Immersion preparation		
Thur., Feb. 26th	08:30-12:00		TBC		
	13:30-14:30	La Source, Vinet Archives office	Visit of La Source's Archives	Mrs. Aurélie Pieracci Prof. Atsuhiko Kakuda 	
Fri., Feb. 27th	06:00-17:00	Lausanne	Practical posting	Paired with La Source students	Clinical uniform & badge required. Lunch on site
	17:00-17:45	La Source, Vinet TBC	Discussion time about the first week	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	Written report about your exchange (approx. 300 words/week)
Sat., Feb. 28th & Sun., March 1st	Free weekend				
Mon., March 2nd	08:30-09:30	La Source, Vinet, Fréminet B	Discussion time about SU objectives and program	Mrs. Nadia Righetti 	
	10:00-12:00	La Source, Vinet, Fréminet B	Conference: Swiss health and political system	Prof. Cédric Bussy	
	13h00 - 15h00	Prilly, Rehabilitation workshops, Department of Community Psychiatry	Rehabilitation workshops and art studio Césure		

Tue., March 3rd	08:30-12:00	La Source, Beaulieu Simulated hospital, room 8	*Simulation: mental status clinical evaluation	Prof. Lucia Ribeiro Carvalho 	
	13:00-17:00	La Source, Beaulieu, Salle 3	Conference & workshop: Ensemble programme, an intervention for caregivers	Prof. Shyhrete Rexhaj	
Wed., March 4th	08:00-18:00	Geneva	Visit United Nations & Int. Red Cross Museum: www.redcrossmuseum.ch/en www.un.org/ Which links with today's nursing?	Prof. Lucia Ribeiro Carvalho 	Lunch at ICRC Restaurant
Thur., March 5th	13:00-15:00	La Source, Beaulieu, Salle 6	Presentation of Senior-Lab. Intergenerational workshop (Senior-Lab and senior members of its community) Bienvenue au senior-lab - Senior-Lab	Prof. Delphine Roulet Schwab Prof. Laurent Soldini Prof. Francesca Bosisio Prof. Rafael Fink Prof. Kéren Bagnoud	
Fri., March 6th	08:30-11:30	Lausanne, Cécil, Clinique Bois-Cerf	Visit of Hirslanden private clinics	Prof. Karen van der Veken 	Written report about your exchange (approx. 300 words/week)
	13:00-14:00		TBC		
	14:00-15:30		*ADES activity in Lavaux OR Olympic Museum	Student association members, La Source sport group members	
Sat., March 7th & Sun., March 8th	Free weekend				
Mon., March 9th	08:15-12:15	Vevey	Visit of Nant Foundation, eastern Vaud psychiatric sector	 	
	14:00-16:30		Visit of Inizio, vocational rehabilitation		
			*Visit of Alimentarium, food museum		
Tue., March 10th	TBC	La Source, Vinet, room 204	Individual study time for poster and final presentation		
	13:00-14:30		Discussion time and final presentation preparation	 	
Wed., March 11th	08:00-17:00	Lausanne, Rue du Bugnon 21 Lausanne, Av. Bergières 11	Suggested cultural activities: Health and society museum: Musée de la main UNIL-CHUV Art brut collection: Collection de l'Art Brut		Written report about your exchange (approx. 300 words/week) Poster deadline 18:00
Thur., March 12th	10:00-12:00	Lausanne, Blécherette airport	Visit of Rega base 4, emergency relief missions	 ADES student members ?	Final presentation deadline 10:00

Fri., March 13 th	08:30- 10:00	La Source, Vinet, room 203	Poster presentation, final presentation (10'/person), discussion and wrap up session	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Ms. Nadia Righetti, 2025 outbound student, student association (ADES) members, Professors, students, clinical partners 	
	10:00- 11:00		Closing ceremony	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Ms. Nadia Righetti, Professors, students, clinical partners ADES 	
	11:00- 12:00	TBC	Informal gathering		
Sat., March 14 th	15:00	Geneva	EK090 (Tokyo)		



7. 交換留学生派遣共通プログラム

看護学部、さいたま看護学部の各ガイダンス期間に、学生部会の協力も得て、国際交流に関する説明会をハイブリッドで開催した。内容としては、語学研修プログラムの準備状況、スウェーデン赤十字大学およびラ・ソース大学との交換留学再開に向けた準備状況を説明し、学生部会やTOEFL ITP の紹介を行った。

8. 2025 年度交換留学生派遣：選考およびガイダンス

交換留学応募者数は 16 名（広尾 11 名、さいたま 5 名）であり、選考試験（英語筆記試験、面接）を行い、スウェーデン赤十字大学およびラ・ソース大学への交換留学生を各 3 名、補欠 1 名を選抜した。なお、11 月下旬にラ・ソース大学へ日本赤十字九州国際看護大学から派遣予定の 1 名が欠員となったため、本学から補欠として選考された 1 名が繰り上がりで派遣されることとなった。事前オリエンテーションは対面で 12 月 26 日に行った。事務手続き連絡の他、外務省推奨のたびレジ登録や緊急連絡先の伝達など、安全管理に関する周知を行った。

E. 国際会議・国際シンポジウムの開催

1. 国際セミナー

2025 年度は、国際交流運営委員会の企画により、以下の国際セミナーが開催された。

2025 年 10 月 1 日にコロンビア大学、フェニックス・マシュー教授（Phoenix Matthews, PhD, MS, BS, LCP）による講演が実施された。日本赤十字看護学園助成研究（R7, 8 年度 2 か年計画）にて招聘した講師で、テーマは、「米国の大学におけるダイバーシティの取組、特に SOGI についての大学の活動」で、18:00～19:30 に広尾キャンパスにて行われた。対面およびウェブ配信のハイブリッドで合計 99 名（リモート参 69 名、対面 30 名）の参加があった。参加者の内訳は日本赤十字 6 大学（71 名）、東京都立大学、駒沢女子大学、聖心女子大学など（28 名）である。

事後アンケートでは、38 名から回答があり、講義内容や構成、運営に対する評価は高く、テーマに関心の高さがうかがえた。一方で、オンライン配信における機材整備や配信環境の改善が今後の課題として挙げられた。

日本赤十字看護大学 国際交流センター 国際セミナー

米国の大学における多様性への取組 ～性の多様性に関する活動紹介～

健康格差学研究者が日本赤十字看護大学に来日します。
米国の大学における多様性に対する取組の経験、特に性の多様性に関する活動について実例を交えながら分かりやすく紹介します。

日 時：2025 年 10 月 1 日（水）18:00～19:30
場 所：日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 202 教室
本講演は Zoom による同時配信を行います

講 師：Phoenix Matthews（フェニックス・マシュー）
コロンビア大学 看護学研究科 教授／臨床心理士
同大学がんセンター 地域連携部門ディレクター
専門：健康格差学、支援が届きにくい人々への保健プログラム
フェニックス・マシュー先生のプロフィールは
コロンビア大学 公式サイトよりご覧いただけます



対 象：日赤関係者
日本赤十字看護大学・聖心女子大学・駒沢女子大学・
東京都立大学の学生・大学院生・教職員の皆様

言 語：英語（通訳あり）

参加費：無料

お申込：二次元コードまたは
こちらからお申込みください
9 月 30 日（火）17 時締切



問合せ：日本赤十字看護大学 国際交流センター kokusai@redcross.ac.jp

ー 広尾キャンパスアクセスー
渋谷駅 東口 都営バス「学 03 日赤医療センター行」または、
恵比寿駅西口 都営バス「学 06 日赤医療センター行」終点下車
東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩 15 分 ※共同住宅敷地内私道は通行できません

本講演は、令和 7 年度 学校法人日本赤十字学園看護・介護に関する研究助成を受け
実施します

【研究課題名】日本の看護系大学における SOGI（性的指向・性自認）の多様性教育
プログラム開発
【代表】日本赤十字看護大学：織方 愛
【共同研究者】日本赤十字看護大学：佐々木 幾美、駒沢女子大学：水野 真希
東京都立大学：國江 慶子、コロンビア大学：Phoenix Matthews

2. 日本赤十字六大学共同国際セミナー

11月21日（金）、日本赤十字広島看護大学において、日本赤十字学園日本赤十字看護6大学国際交流委員会共催の講演会「リフレクション」が開催された。当日は、看護リフレクション研究の第一人者であるクリストファー・ジョーンズ氏を講師に迎え、看護実践におけるリフレクションの有用性について理解を深めた。

国際交流セミナー

日本赤十字学園 国際交流委員会
日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字東北看護大学 日本赤十字看護大学
日本赤十字豊田看護大学 日本赤十字広島看護大学 日本赤十字九州国際大学
共同開催

Reflection

6つの対話的ムーブメントを用いた
リフレクションの学びの構造化

講師
クリストファー・ジョーンズ氏
Christopher Johns PhD, RN



日時 2025年11月21日（金）
13:00-14:30 逐次通訳付き

会場 日本赤十字広島看護大学
ソフィアホール

対象 対面開催・オンデマンド配信あり
日本赤十字学園
日本赤十字看護6大学
学生・院生・教職員

- ・看護リフレクション研究の第一人者
- ・英国・エクセター大学看護アカデミー名誉教授
- ・省察的実践のコンサルタント

お問い合わせ 日本赤十字広島看護大学 総務課
参加費無料

電話：0829-20-2800
E-mail: sohmu@jrchen.ac.jp

国際交流セミナー

看護実践における
リフレクションの力
-人間中心のケアに向けて-

Harnessing the Power of Reflective Practice
in Nursing: Advancing Person-Centered Care

講師：クリストファー・ジョーンズ氏
Christopher Johns PhD, RN

英国・エクセター大学看護アカデミー 名誉教授 省察的実践コンサルタント

11月22日（土）13:00～

13:00～14:00 講演
14:30～16:00 ワークショップ

対面＋オンライン開催（逐次通訳）
本会場：日本赤十字広島看護大学
（広島県廿日市市阿品台東1番2号）
参加費：日本赤十字社施設 1名あたり1,000円
その他の施設 1名あたり2,000円

事前申込制（先着順）
締切：10/31（金）

お申し込みはこちらから！



看護実践におけるリフレクションの重要性とその実践的活用について、国際的に著名なクリストファー・ジョーンズ氏を英国より招聘し、学術的かつ臨床的視点から、理論とその実践を学びます。

日本赤十字看護6大学共同主催
日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字東北看護大学 日本赤十字看護大学
日本赤十字豊田看護大学 日本赤十字広島看護大学 日本赤十字九州国際大学

【お問い合わせ】日本赤十字広島看護大学 総務課
TEL: 0829-20-2800（代表） E-mail: sohmu@jrchen.ac.jp

F. その他 国際交流活動及び国際事業・協力活動

1. TOEFL-ITP

2025年度は、TOEFL-ITPを2回広尾キャンパスにて実施した。交換留学等を希望している両学部生、英語に興味を持っている両学部生、編入生、大学院生を対象とした。大学院1年生全員は研究科教務委員会より受験料が支払われた。本学の修士課程国際保健助産学専攻を受験予定の外部の方も受験可能となり、このスコアを同選考の入試のスコアとして利用できるようになっている。

第1回 2025年5月24日（土）10時より実施

受験者合計89名（学部22名、さいたま看護学部5名、修士45名、博士6名、外部11名）

第2回 2026年2月28日（土）10時より実施

受験者合計 25 名（学部 8 名、さいたま看護学部 4 名、修士 10 名、博士 2 名、外部 1 名）

2026 年度も 5 月と 2 月に 2 回実施予定である。

2025年度 国際交流センター運営委員会 役割分担と年間スケジュール

2025年度				2025年				2026年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国際交流センター運営委員会	17日	22日		17日		18日	16日	20日	18日	22日	19日	19日
スウェーデン赤十字大学派遣	学生 ガイダンス説明会 (対面)		募集要項配布・申請			選考					派遣 (3名)	
スウェーデン赤十字大学受入	学生					11/3(月)~11/14(金) 受入れ(3名)						次年度学生 宿舎仮予約
ラ・ソース大学派遣	学生 ガイダンス説明会 (対面)		募集要項配布・申請			選考					派遣 (4名)	
ラ・ソース大学受入	学生					受入れ中止						次年度学生 宿舎仮予約
ワシントン大学語学研修	学生 ガイダンス説明会 (対面)				8/15(金)~9/8(月) 夏季語学研修							
大学院生海外研修												
他国との交流							10/7(火)大阪万博 スイス館訪問					
国際会議・国際シンポジウム							10/1 (水) フェ ニックス・マ シユー先生講演会	11/21(金) クリストファー・ ジョーンズ氏講演会				
海外学会発表・研修・語学力の推進 (TOEFL-ITPテスト実施)		5/24(土) TOEFL-ITPテスト 第1回 (レベル1)							2/28(土) TOEFL-ITPテスト 第2回 (レベル1)			
MOU												3/11 (水) スウェーデン赤十字大 学 MOU更新
学生会							10/4 (土) クロ ア・ルージュ祭	11/4(火)~11/14(金) 交換留学生歓迎迎会 11/9(日) プリムローズ祭				
年報/活動報告書												
自己点検用資料/中長期計画/ ホームページなど												
予算						2026年度予算作成 予算案の委員会 報告			2026年度予算 予算案提出			
姉妹赤十字社訪問申請					9/15 (月) カンボジア赤十字 社 (笹川・院生)							3/11(水)~3/12(木) インドネシア赤十字社 (内木・龍乃・院生・学部生)

2025 年度 日本赤十字看護大学 国際交流センター活動報告書

作成年月 2026 年 4 月
発行・編集 日本赤十字看護大学 国際交流センター
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3
日本赤十字看護大学
電話：03-3409-0875
FAX：03-3409-0589
Email:kokusai@redcross.ac.jp
